

7月定例教育委員会 会議録	
日 時	令和8年7月8日（水） 午後3時00分～午後3時40分
場 所	本庁舎 9階 会議室9－2
出席委員	松田教育長・末木職務代理人・上原委員・川口委員・岩下委員
出席事務局職員	里吉教育部長・近藤教育総室長（総務課長兼任）・西村生涯学習室長（歴史文化財課長兼任）・大森学校教育課長・中村学事課長・穂山教育施設課長・花輪甲府商業高等学校事務長・浅川甲府商科専門学校事務長・樋田生涯学習課長・武田スポーツ課長・海瀬図書館長・菱山総務課課長補佐・内田総務課係長・舟久保総務課主任
傍 聴 人	なし
署名委員	
委員会書記	
・教育委員あいさつ	
・会議録署名委員の氏名 川口委員	
・6月定例会会議録の承認 原案のとおり承認	
松田 川口 岩下 末木 上原	
1 開会 松田教育長 これより7月定例教育委員会を開会いたします。 （1）教育委員あいさつ 川口委員 連日、日増しに暑さが厳しくなり、いよいよ本格的な夏の到来を実感する季節となりました。学校では期末テストを終え、1学期も残りわずかとなり、子どもたちが心待ちにしている夏休みを迎えようとしております。 先月行われました教育視察では、梅雨の晴れ間の気温が高い日ということもあり、活気あふれるプールの授業が行われておりました。子どもたちの元気な声が響き渡る中、3人体制での手厚い指導が行われており、非常に安心感を覚えました。また、各教室の工夫を凝らした掲示物や、児童・生徒への丁寧な声掛けなど、保護者の立場として大変深く勉強になりました。いずれの学校におかれましても先生方の強い連携と協力体制が感じられ、子どもたちの気持ちに寄り添った、日々の中での熱心なご対応に改めて感謝申し上げます。 また、ちょうど1年後に迫った「南関東インターハイ」の準備も本格化していることと存じます。出場を目指す高校生のみならず、全国トップレベルのプレーを間近で見られるこの機会	

は、地域の小中学生にとって「自分もあんな風になりたい」という強い憧れや、大きな夢を育む素晴らしい契機となります。この夏休み、子どもたちにはスポーツに限らず、それぞれの目標や憧れを胸に、大切に日々を過ごして欲しいと願っております。

子どもたちがこのように何かに没頭し、目を輝かせて挑戦できる原点は、「命と安全」が守られている安心な環境があってこそではないでしょうか。近年、夏の猛暑による熱中症のリスクは深刻さを増しております。さらに、夏休みに急増する水難事故や交通事故など、開放感から生じる一瞬の油断が重大な事態を招きかねません。子どもたちの輝く憧れや夢を脅かすような悲しい事故は、何としても未然に防いでまいらねばならないと強く心に刻んでおります。

全ての児童・生徒が、安全かつ健康的にこの夏を乗り切り、2学期にまた元気な姿で登校できるよう、各家庭における徹底した指導と合わせまして、学校側におかれましては継続的な注意喚起をいただけますようお願いを申し上げます。

来年のインターハイ、そしてその先にある子どもたちの輝かしい未来を守るため、保護者として、甲府市民の一人として、安全な環境づくりに真摯に向き合ってまいりたいと存じます。

皆様におかれましては、引き続き温かいお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

本日はよろしくお願いいたします。

(2) 会議録署名委員の指名

松田教育長

本日の会議録署名委員は、川口委員をお願いいたします。

(3) 前回会議録の承認

松田教育長

6月16日の定例教育委員会の会議録について、何かご意見、ご質問はありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

【原案どおり承認】

(教育委員会承認)

2 議事

(1) 議題

松田教育長

第18号 甲府市学校職員の勤務時間等に関する規則の一部改正について
資料に基づきまして、花輪甲府商業高等学校事務長から、説明をお願いします。

(花輪甲府商業高等学校事務長から資料に沿って説明)

松田教育長

説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。

ご意見、ご質問はありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、原案のとおり決定ということでよろしいでしょうか。

【原案のとおり決定】

(教育委員会決定)

松田教育長

第19号 令和8年度 甲府市武田氏館跡歴史館の臨時開館について
資料に基づきまして、西村生涯学習室長から説明をお願いします。

(西村生涯学習室長から資料に沿って説明)

松田教育長

説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。

ご意見、ご質問はありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、原案のとおり決定ということでよろしいでしょうか。

【原案のとおり決定】

(教育委員会決定)

(2) 報告

松田教育長

第9号 甲府市議会6月定例会の審議状況について

資料に基づきまして、近藤教育総室長から説明をお願いします。

(近藤教育総室長から資料に沿って説明)

松田教育長

説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。

ご意見、ご質問はありますでしょうか。

末木職務代理者

要望になります。

市立図書館につきましては、今年度100周年を迎える中で、各種記念事業を展開していくこととなりますが、昨年策定した「第2次甲府市立図書館基本計画」内に、図書館の在り方や目指す図書館像について謳われていることから、それらに基づいた新しいサービスの充実を図っていただくとともに、100周年というこの機会に、図書館により親しみや愛着を持ってもらえるような取組を進めてもらいたいと思います。

また、目指すべき図書館像は、「地域における知の拠点」となりますことから、7月、8月の夏休み期間中はイベントも多いと思いますので、こういった機会を利用して、図書館をよく知っていただき、愛着を持ってもらうよう周知徹底を図るなど、市民に親しまれる施設になってもらうよう努めていただきたいと思います。

よろしくお願いします。

海瀬図書館長

図書館といたしましては、「第2次甲府市立図書館基本計画」を令和7年3月に策定し、5か年計画として進めているところであります。ただいまお話がありましたように、目指すべき図書館像が「地域における知の拠点」ということで、それに基づき各種取組を進めているところになりますが、この100周年を一つの契機としまして、今後も、図書館へ多くの方に来館していただいて本に触れる機会を増やしていくとともに、100周年における様々なイベントを通じて、普段図書館に馴染みのない方にもお越しいただき、今後も通っていただく機会に繋がるよう、取組を強化してまいりたいと考えております。

松田教育長

ご要望いただきましたので、よろしくお願いいたします。

その他いかがでしょうか。

上原委員

図書館開館100周年を契機とした今後の在り方と記念事業についての感想と要望を述べさせていただきます。

公立の図書館といいますと、本に触れたり、学生たちが勉強するところというイメージを抱きますけれども、一方で、人と人が出会ったり、地域づくりの拠点としての役割を担っていることを認識させていただいたところであります。

その中で、この100周年の記念事業を拝見しますと、そういったことを踏まえたイベントが多く、地域の人同士の繋がりが希薄になっている現在にとって、大変有意義なイベントが多く、記念事業として、最適な取組だと感じております。

また、移動図書館のなでしこ号は有効に活用されていることを聞いておりますが、誰もが知識や思想、情報を自由に接することができるように、今後は障がい者サービスや高齢者サービス、また、日本語を母国語としない外国の方への文化サービスも進んでいくよう期待しております。

海瀬図書館長

なでしこ号につきましては、新聞等で既にご存じかもしれませんが、現行の車両が20年を経過し、老朽化している状況がありますことから、この100周年を契機として、新しく更新することを目的に、クラウドファンディングを行い目標額を達成したところであります。来年11月には新車両による出発式を行うことを考えております。

また、新しいなでしこ号を契機に、今後は通常の巡回と併せまして、なでしこ号にも多くの方に来ていただき、そこから図書館にも足を運んでいただくような取組を検討していきたいと考えております。

大勢の方が図書館へ来ていただくような機会に繋げてまいりたいと考えております。

松田教育長

よろしくお願いいたします。

その他いかがでしょうか。

岩下委員

あすなろ学級の小学校低学年児童の受入体制について、3つの点から質問、要望させていただきたいと思います。

まず1点目となりますが、低学年児童の受入状況につきまして、全国的に不登校児童・生徒が増加する中で、これまで確かな成果を上げてこられたあすなろ学級の入級対象学年を本年度から、小学校1年生へと拡大していただいたことにまず感謝申し上げたいと思います。

そこで本年度からの実施における、現時点での小学校1年生及び2年生の受入児童数をお聞かせいただければと思います。

続けて2点目、関係機関との連携についてとなります。

多様な児童を受入れる中で、現在実施されております、あすなろ講師会における事例研究や、情報共有をぜひ指導、支援の充実に繋げていただければと考えております。

そのうえで、校内教育支援センター「ほっとルーム」や児童生徒支援センター「すてっぷ」、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーといった関係機関、専門職の方々との連携について質問させていただきます。

これらの方々との連携を具体的にどのように進めていかれるのか、詳しい取組内容が決まっておりますらお聞かせいただければと思います。

3点目となりますが、施設環境の整備についてです。

施設環境の整備につきましては、限られたスペースや予算の中で、パーティション等を活用して、児童・生徒が落ち着ける環境の確保に努めていただき感謝いたします。

より教育環境を向上させるために、各教室の状況や必要に応じて、改修予算を確保して、1つの部屋を小さな部屋に区切る等の工夫をしていただくことや、また新たな施設の確保に向けた具体的な検討をお願いしたいと思っております。

厳しい財政状況であることは重々承知しておりますけれども、児童・生徒の教育環境向上のために、前向きな検討をお願いしたいと思います。

以上です。

大森学校教育課長

それでは、1つ目のご質問、今年度新たに対象になった小学校1・2年生の受け入れ状況でございますが、現在、1年生の入級、入りたいという希望が1件ございます。2年生はございません。

この希望しているお子さんにつきましては、今後、あすなろ学級を実際に見学していただく方向で調整を進めております。3つの施設全てみたいとのことでしたので、3つ見ていただく中で、自身に合った教室を選んでいただくように進めております。入級ということになりましたら、1年生のお子さんですので、安心できる場所となるよう、楽しい活動を用意することや、講師の先生方、周りの上級生との人間関係づくりを優先した取組を行ってまいりたいと考えております。

岩下委員

夏休み明け以降に不登校傾向となるお子さんもいると思いますので、また今後も児童・生徒、保護者への丁寧な周知もよろしくお願いしたいと思います。

大森学校教育課長

夏休みが開けたところで、「すてっぷ」ですとか、あすなろのチラシについては、保護者宛てに、各学校から配付しているところであります。

次に2つ目のお答えになりますが、ほっとルームとの連携についてでございます。

あすなろ学級における、「すてっぷ」との連携についてご説明させていただきます。

あすなろ学級の講師は6名おりますが、月に1度、講師全員が参集しまして、あすなろ講師会というものを開催しております。その場で「すてっぷ」のスクールソーシャルワーカーや生徒指導アドバイザーが参加し、情報共有や、今後の支援の方向性を毎回検討しているところであります。また、あすなろ学級に通う児童・生徒の心理面のケアとして、「すてっぷ」のスクールカウンセラーが直接本人との面談や保護者とも面談することもございますので、「すてっぷ」とはこのような連携を図っており、さらに進めていくことを考えております。

また、あすなろ学級の講師と中学校の「ほっとルーム」の連携につきましても、担当者がそれぞれ集まる連絡会というものを毎年2学期の初めに実施しております。

生徒の中には、あすなろ学級と「ほっとルーム」を併用している生徒もおりますので、そこで情報共有を行い、支援の方向性を整え同じ方向で支援ができるよう突合せをしているところであります。

今後におきましても、こうした連携を図りながら、子どもたちの社会的自立に向けた支援を進めてまいりたいと考えております。

岩下委員

それぞれの専門性を生かした効果的な支援をぜひお願いしたいと思います。

松田教育長

その他いかがでしょうか。

末木職務代理者

手話教育の答弁における聴覚障がいに関する学習につきましては、知識だけではなく実際に、手話通訳者や当事者が講師となっていく体験学習は、大変良い機会だと思いますので、ぜひ今後も進めていただいて、聴覚障がいに対する理解を深めてもらいたいと思います。

また、甲府市は、手話言語条例が制定されてないと思いますが、手話は1つの言語だということを、子どもの段階で理解してもらうような場を設けてもらい、障がいへの理解を深めてもらいたいと思います。

よろしくお願いします。

大森学校教育課長

答弁にもありますように、12校で実際に当事者の方をお招きした講話がありますが、他の学校においても、障がいのある方をお招きしての福祉講話を行っておりますので、多様性を学び理解を深めるという意味で、障がいのある方への接し方や共存の在り方について、学校でも教育しているところであります。

末木職務代理者

知識だけではなく体験学習などもしっかりと取り組んでももらいたいと思います。

松田教育長

その他いかがでしょうか。

岩下委員

意見となりますが、小学校水泳授業の現状とプール施設の熱中症対策についてになります。

答弁内容を読ませていただきますと、本市の小学校全体で昨年6月から7月にかけて計画された水泳授業3000回程度の内、述べ40回程度が中止、述べ60回程度が短縮とあります。

中止や短縮された回数は少なく、また割合も小さいことから、学習指導要領に基づいた指導内容や指導時数は確保されているものと思っております。

また学校現場においても、こまめな水分補給、プールサイドへの散水、テント設置など、様々な対応をとっていただけることにより、児童の安全が確保されていると思っております。

今後さらに猛暑となる傾向が進んで、暑さ指数が基準値を超えて中止や短縮回数が増えていくことも危惧されますことから、学校現場での対応にも限界があると思っております。

水泳授業が安全に実施できますように、授業の実施体制や環境整備について再検討すること、例えば、プールへの屋根の設置、また民間も含めた屋内プールの利用、また他県で進められておりますプールシェアなど、これまでとは違う方法も模索していったほしいと思います。

以上です。

松田教育長

全国的にも様々な事例があるところで、調査研究、また庁内での検討会議でも検討が進められているところですので、引き続きよろしくお願いいたします。

その他いかがでしょうか。

岩下委員

山梨県立夜間中学・学びの多様化学校との連携についての要望となります。

夜間中学・学びの多様化学校は様々な理由から、義務教育を修了できなかった方、外国籍の方、また不登校や不登校傾向にある生徒の多様なニーズに応える新たな学びの場として、大きな注目を集めております。

少人数指導や習熟度別指導など、一人一人の状況に即したきめ細かな指導を行うことで、学習の継続と、社会的自立を力強く支える学校になるものと捉えております。

令和10年度に市内にある中央高校内に設置されることが示されていることから、個別最適な支援の更なる充実を期待しているところであります。

答弁内容の最後にも触れられておりましたが、学校現場、生徒、保護者への周知を確実に進めていただくとともに、開設に向けて、当該学校及び県教委と緊密な連絡連携体制を構築して、多様な学びの確保に積極的に取り組んでいただくようお願いいたします。

以上です。

大森学校教育課長

この件に関しましては、県の方とも電話にて、やり取りをさせていただいており、今おっしゃっていただいたように、子どもたちや保護者への周知、また、入学を希望される方には情報共有は欠かせないということで、緊密に連携を図っております。

今後は、県との連携はもとより、そこでの対策や取組などの支援内容について、小中学校と共有していきたいと考えております。

岩下委員

ぜひよろしく願いいたします。

松田教育長

その他いかがでしょうか

上原委員

甲府商科専門学校の関係で、感想を述べさせていただきます。

1年生の必修科目となる「山梨地域経済概論」の成果発表会を、今年と一昨年に拝見させていただきました。

グループワークの実施と、RESASという地域の現状データを正確に把握できるシステムの2つを軸に1年間かけて研究発表を行うということで、知識をつけるだけでなく、探究心を養う素晴らしい学びであると感じました。

今、価値観が多様化する中、そして、問題解決能力を求められている中では、大変有意義な授業であると思います。さらに、成果発表をポスターセッションと壇上で行っている点も、学生たちの伝える力を養うことへと繋がり、プレゼンテーションの大切さや良さを感じました。これからも「山梨地域経済概論」を楽しみにしております。

浅川甲府商科専門学校事務長

甲府商科専門学校としましては、この「山梨地域経済概論」という授業が他の専門学校にはない学習であり、生徒たちがこの授業を踏まえ、各種資格を取得し、県内外への就職へと繋げていることから、学校としましてもPRしながら実施しているところであります。

松田教育長

その他いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、原案のとおり確認いたしました。

【原案のとおり確認】

(教育委員会確認)

3 その他

松田教育長

その他になりますが、何かございますか。

4 閉会

松田教育長

以上をもちまして、7月定例教育委員会を閉会します。